

2022 年 12 月期クボタグループ英国現代奴隷法 ステートメント

株式会社クボタとその関連会社(以下「クボタグループ」)は、2015 年に成立した英国現代奴隷法に関して、同法第 54 条の定めに基づき、本ステートメントを公表します。クボタグループは、自社事業及びサプライチェーンを通して人権侵害を犯さない、加担しないよう努めており、以下に現代奴隷撤廃のための取り組みについて述べます。尚、当ステートメントでは、現代奴隷については、同法の定義に従います。

1. 組織体制 及び サプライチェーン

- 企業・事業の概要については、以下のウェブサイトをご参照ください。
URL: <https://www.kubota.co.jp/corporate/overview/index.html>
- クボタ製品の部品や一部完成品は、日本国内外の調達パートナーから調達しています。調達パートナーの数は、2022 年 12 月現在で約 3,600 社あります。

2. 方針

(1) クボタグループに適用する方針

- クボタは、クボタグループの社会的責任の基本姿勢を示した「クボタグループ行動憲章」を定めています。その中で、人権尊重の方針を次のように定めています。
『人権の尊重: すべての人の尊厳と権利を尊重し、人権侵害を行いません。』
詳細は以下のウェブサイトをご参照ください。
URL: <https://www.kubota.co.jp/sustainability/employee/conduct/index.html>
- また、クボタグループで働く一人ひとりが自ら「クボタグループ行動憲章」を実践していくために、「クボタグループ行動基準」を制定しています。その中で、人権尊重については、次のように定めています。
人権の尊重:
 - ・ 私たちは、世界人権宣言を支持し、すべての人の人権を尊重します。
 - ・ 私たちは、国籍、人種、年齢、性別、性的指向や性自認(※)、障がいなどいかなる事由による差別も人権侵害も行いません。
(※)性自認とは:「自分自身の性別をどう認識するか」という概念
 - ・ 私たちは、強制労働や児童労働を認めず、取引先に対しても、その旨を要請します。詳細は以下のウェブサイトをご参照ください。
URL: <https://www.kubota.co.jp/sustainability/employee/conduct/index.html>

(2) サプライチェーンに適用する方針

- サプライチェーンに対しては、調達方針及び「クボタグループ CSR 調達ガイドライン」を制定しています。その中で、人権尊重については、次のように調達パートナーに対し要請しています。
人権の尊重:
 - ・ 世界人権宣言を支持し、すべての人の人権を尊重します。
 - ・ 国籍、人種、年齢、性別など、いかなる事由による差別も人権侵害も行いません。
 - ・ 強制労働や児童労働を認めず、取引先に対しても、その旨を要請します。
 - ・ 反政府武装勢力の資金源となっている紛争鉱物の使用を禁止するよう推進し、万一、紛争鉱物の使用が判明した場合は、速やかに不使用化に向けて取り組みます。詳細は以下のウェブサイトをご参照ください。
URL: <https://www.kubota.co.jp/sustainability/society/procure/index.html>

(以下次葉)

3. デュー・ディリジェンス(含むリスク評価及び管理)

(1) クボタグループの取り組み

- ・ 人権尊重を含むクボタグループ行動憲章・行動基準を入社時に社員に配布・説明し、遵守する旨の誓約書を取っています。2021年度は6,901名取得しました。現在2022年度分を集計中です。
- ・ 毎年、クボタグループ各社向けに人権に関する取り組み状況調査を実施して、状況を確認しています。2022年度は82社に実施しました。
- ・ また、クボタグループ各社において内部通報制度を整備し、人権侵害の通報を含む不正・不法・ハラスメント行為の対応窓口を設置しています。

(2) サプライチェーンに関する取り組み

- ・ サプライチェーンに対しては、ウェブサイト上に調達方針及び「クボタグループ CSR 調達ガイドライン」を公開して、調達パートナーに「クボタグループ CSR 調達ガイドライン」の遵守を要請しています。
- ・ 2018年度よりCSR調達セルフアセスメントを開始しました。2022年度は日本の主要取引先約220社に実施しました。調査を通じて各社の改善点を明確にし、結果をフィードバックしました。評価が低い項目については自主的な改善を要請しています。セルフアセスメントの結果から必要と判断した取引先にはヒアリングや訪問により改善の支援を行っています。
- ・ 取引先を対象とした「サプライヤーホットライン」を運用し、取引の透明性・公正性の向上を図り、不適切行為の早期発見、是正に取り組んでいます。

4. 研修(含む当該期間の活動報告)

(1) クボタグループの取り組み

- ・ 日本国内のクボタグループ会社において、人権啓発研修を実施し、人権問題の最近の動向も説明し、従業員の意識啓発を行いました。2022年度では、28,643名の従業員が研修済です。
- ・ 日本国以外のクボタグループ会社においては、英国現代奴隷法の内容を各社の管理者に通知し、管理職への周知展開を要請しました。次回のクボタグループ各社向けの人権に関する取組状況調査の中で、周知展開状況を確認していきます。

(2) サプライチェーンに関する取り組み

- ・ 日本国内の調達パートナー向け説明会の中で、英国現代奴隷法および人権デュー・ディリジェンスについて説明し、協力を要請しました。

2023年6月

株式会社クボタ

北尾裕一

代表取締役社長

北尾 裕一